

この『生きがい通信』は、兵庫県生きがい創造協会本部の事業やいなみ野学園・阪神シニアカレッジなどの高齢者大学の諸事業、各施設の情報をお知らせしています。

## トピックス

### 関西圏・首都圏シニア大学校交流事業 3年ぶりに兵庫県で開催！



2月15日(水)、県立兵庫津ミュージアム(神戸市兵庫区)で、「関西圏・首都圏シニア大学校交流事業」が開催されました。

この事業は、関西圏・首都圏のシニアカレッジの受講生や関係者が一堂に会し、共同講義や体験を通じて交流を深め、「府県域を越えた仲間づくり」や「新たな生きがいづくり」を図るため、府県持ち回りで実施されています。

新型コロナの影響で過去2年間は実施できませんでしたが、ようやく今年度3年ぶりの開催となりました。会場は、令和4年11月にグランドオープンしたばかりの「県立兵庫津ミュージアム」で、主催の兵庫県をはじめ、京都、大阪や遠くは徳島県や島根県から103名のシニアカレッジ受講生・関係者が集いました。

当日は、参加校による事業紹介、同ミュージアムの名誉館長でもある田辺真人氏による基調講演、初代県庁館・ひょうごはじまり館の施設見学など盛りだくさんの内容で交流を深めました。来年度は大阪府で開催される予定です。



## 「理事長のひとこと」

〔(公財)兵庫県生きがい創造協会理事長兼いなみ野学園長 林 省吾 〕

新型コロナウイルス感染症が国内で初めて報告されてから3年が経ちました。その間、私たちの生活スタイルやその価値観が少しずつ変化しているように感じます。

いま、「ウェルビーイング(Well-being)」という概念が注目を集めています。心も体も元気に、社会との関係も良好な状態で、無理をせず自分らしく健やかに生きることに重きをおく新たな人生観です。一人ひとりがそれぞれに、豊かに生きることを追求することで、持続可能な幸せを得る。このように幸福かどうかは人々の価値判断の基準になりつつあります。

人生100年時代。自分らしさを基本に大切な家族や友達と過ごす時間を大切にしたり、好きなことを追求することが、生きがいや健康の源となり「健康寿命」を伸ばす。もはや健康なままで100歳まで過ごすことは夢ではありません。

生きがい創造協会は、今後も、仲間と共に学びや好きな活動を、楽しく続けていただけるよう、さまざまな事業を通して応援して参ります。



**いなみ野学園 地域活動促進説明会 「地域活動のとびら」を開催**

いなみ野学園・地域活動支援センターは、学園の卒業予定者を対象に地域活動への理解を深め、自ら取り組みを始めてもらえるように、毎年地域活動実践グループによる活動紹介を行う地域活動促進説明会「地域活動のとびら」を開催しています。

本年度は2月3日(金)にいなみ野学園大講堂で開催しました。いざなぎ学園大学からは、地元淡路の伝統や歴史を大切にしながら、新しい挑戦に取り組む「淡路ええとこ残し隊」、阪神シニアカレッジからは、高齢者福祉施設や老人会等で交流活動を実践している「くれよん『10』」、いなみ野学園からは、マジックによる、地域ボランティア活動を展開している「マジックサークル『てっぺん』」の3団体9名の皆様から、それぞれの活動の実践発表があり、卒業予定者への活動参加の動機づけとなりました。

最後に 元兵庫教育大学大学院教授 廣岡徹先生からそれぞれの発表にコメントをいただき地域活動への参加を勧められました。



**ICT を活用した新たな学びの場の提供をすすめています**

兵庫県いなみ野学園では、アクティブシニアの多様な学習ニーズに応えるため、ICT を活用しポストコロナ社会にも対応した、受講者が安心・安全に学習できる新たな学習環境の整備に取り組んでいます。

① オンライン会議システムを利用した講座の同時配信

いなみ野学園共通講座では、密を避け安心して受講できるように教室内の定員を制限し、オンライン会議システム「Zoom」を活用し、敷地内の別教室で受講できる「分散授業」や自宅でのリモート同時受講ができるよう整備されています。

② ホームページでのオンライン講座配信

共通講座の講義を録画し、学園ホームページを通じて受講生に配信するための動画公開用プラットフォームを作成し、自宅に居ながらにして生涯学習を継続する環境を整備しています。

③ 県内の高齢者大学をオンラインで結んだ共通授業の実施

県内にある高齢者大学（いなみ野学園・阪神シニアカレッジ・但馬文教府・西播磨文化会館等）をオンラインで結び、著名な講師による共通授業も実施しています。



**短期集中講座、5 講座を実施！！**

生涯学習部では、短期間の学習講座の開設に対するニーズに対応するため、平日の午後やいなみ野学園の休園日などの学舎を活用し、家庭生活で役立つ趣味・知識等の分野について、広く県民を対象とした「短期集中講座」を実施しています。

今年度は、下記の5講座を実施しました。どの講座も短期集中型で参加しやすかったこともあり、多くの参加を得て受講者の方からも好評をいただきました。来年度もより充実した内容で短期集中講座を実施します。

講座名	講師
藤原正美の話し方講座 (3日間)	藤原正美 氏 (ラジオ関西番組パーソナリティー・ディレクター)
くらしに役立つ! 算数・数学講座 (4日間)	菅生安展 氏 (前いなみ野学園副学園長)
はじめての園芸 入門ミニ講座 (3日間)	小松正紀 氏 (野菜) 真野隆司 氏 (果樹)、高見敬次 氏 (花)
ひょうご文学散歩 (4日間)	廣岡 徹 氏 (兵庫教育大学大学院元教授)
剪定講習 (2日間) ※兵庫県シルバー人材センター協会と共催	北井 学 氏 (いなみ野学園園芸学科技術顧問)

はじめての園芸 (寄せ植え体験)



話し方講座



ひょうごラジオカレッジだより

**◇学生参加番組「私の心のオアシス」を放送しました！**

今年度は学生の皆さんから提案いただいた「私の心のオアシス」をテーマに、原稿を募集し、143編の投稿がありました。

皆さん、それぞれに、思い出の地や癒される場所、気のおけない家族や友人、あるいは趣味や仕事など、まさに「百人百様」の「心のオアシス」をお持ちでした。

投稿者の中から、12名の方に学生参加番組にご出演いただき、新年の2週にわたりラジオで放送しました。

出演された皆さんは、慣れない番組収録で、緊張のあまり、前の晩は眠れなかった方も中にはおられたようですが、それぞれに想いを込めてお話いただきました。これからも、それぞれの「心のオアシス」を大切にしながら、こころ豊かな日々を送っていただければと思います。



## 「オープンキャンパス 2022」を 開催しました！

令和4年12月22日（木）にオープンキャンパスを開催しました。バルーンアートクラブの協力により大教室内と教室前、カレッジ入口にツリーや雪だるまといった飾り付けをし、明るく楽しい雰囲気に仕上がりました。



クリスマス前ということもあり、クラリネット奏者「Le Monde Clarinet Ensemble」が「きよしこの夜」などのクリスマスソングメドレーをはじめ、「茶色の小瓶」「川のながれのように」といったなじみ深い曲を演奏し、約100名の来場者にお楽しみいただきました。

コンサート前後にはカレッジ館内を開放し、クラブと屋上農園の見学と共に令和5年度の入学生募集案内を配布いたしました。

令和5年度の入学生の申込受付は令和5年1月4日（水）～13日（金）に行いました。

4年制の健康学科には76人、国際理解学科には118人の申し込みがあり令和5年1月19日（木）10：00から阪神シニアカレッジ交流ホールで公開抽選を行い、それぞれ60人の内定者と10人の補欠を、阪神ひと・まち創造講座は30人の内定と3人の補欠を決定しました。

なお、園芸学科が定員に満たなかったため2次募集を実施することになりました。

2次募集について詳しくはお電話などで阪神シニアカレッジにお問合せいただくか、ホームページ (<https://hsenior.jp/>) で内容をご覧ください。募集案内や入学申込書のダウンロードも可能で、先着順で受け付けします。



## うれしの台ユースセミナー ウィンタースクール 【どんぐりキャンプ】

12月26日（月）～27日（火）、1泊2日で、発達障害の子どもを対象とした「どんぐりキャンプ」を開催しました。キャンプ中は子ども1名に対し、学生1名以上が担当し、キャンプ終了まで一緒に行動しました。「どんぐりキャンプ」では、キャンプ開催前に親子と学生リーダーが対面することで、保護者の方々も子どもたちも安心して過ごしていただけたと考え、事前説明会を設けています。キャンプ中に気を付けてほしい点や不安な点を双方とも確認し、当日に備えました。

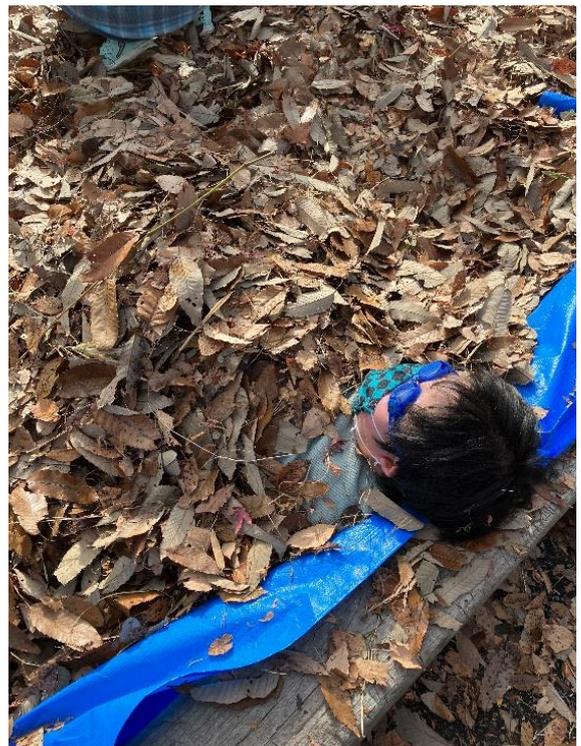
キャンプ1日目には、臼と杵を使い、昔ながらの餅つきを体験しました。杵は重たいけれど、子どもたちは「よいしょ」と掛け声を合わせて応援し、一生懸命作りました。自分たちで作ったお餅はとてもおいしく、たくさん食べていました。

2日目は、“葉っぱのプールに飛び込もう”と題して、3m四方のプールを作り、たくさんの落ち葉を敷き詰めました。飛び込んでみたり、のんびり浸かってみたり、思い思いに遊ぶ姿が見られました。

家族と離れて生活した経験は、成長においてとても大きな自信となり、生きる力を与えてくれることと思います。



[餅つき]



[葉っぱのプールに飛び込もう]

## 但馬文教府だより

### 「みてやま学園新春放談・交流会」を開催しました！

但馬文教府みてやま学園では、1月13日（金）、学生自治会主催で「新春放談・交流会」を開催しました。

多くの卒業生が見学する中、喜寿を迎えた学園生のお祝い、各学年の代表による放談、学年ごとの出し物、コーラス他のクラブ活動の発表を行い、歌あり、踊りあり、笑いあり、学園生全員参加で楽しい時間を過ごしました。



## 西播磨文化会館だより

### 令和5年 新年文化交流会

新春1月11日（水）、衆議院議員山口 壯（代理）様、同じく池畑浩太郎様をはじめ多くの来賓をお迎えし、西播磨文化協会連絡協議会の新年交流会が西播磨文化会館を会場として盛大に行われました。

福崎町文化協会所属の女声合唱団ポーコ・ア・ポコによるオープニングアトラクションで開幕し、萬代新一郎西文連会長の開会あいさつに続いて令和4年度「ともしびの賞」を受賞した3名1団体が紹介され、受賞者のスピーチには約80名の参加者から祝福の拍手が贈られました。その後、12の文化協会からの活動報告を受け、意見交換が行われました。

感染症対策のため今年も短時間での開催になりましたが、新年にふさわしい華やかな雰囲気の中での交流会となりました。



## ゆうゆう学園 オープンカレッジ・趣味の作品展

地域の皆さんや入学希望の皆さんにゆうゆう学園（西播磨高齢者文化大学）を知っていただくために、1月20日（金）及び2月3日（金）の2回にわたってオープンカレッジ（公開講座）を実施しました。午前中の教養講座に続いて午後は大学説明会とクラブ活動見学会を行い、参加者の皆さんに学園生活を体験していただきました。

なお、第1回の講座（「山城を歩くーその魅力の楽しみ方ー」 講師 滋賀県立大学名誉教授 中井 均 氏）はオンライン配信により、いなみ野学園でも同時受講しました。

さらに、この期間中、美術展示室では「趣味の作品展・クラブ作品展」を開催し、ゆうゆう学園生をはじめ OB・家族・会館職員がクラブ活動や日頃の趣味の成果を発表しました。いずれも力作ばかりで見る人を楽しませていました。



## ゆうゆう学園 PR ビデオを制作しました！

令和5年度学生募集に向け、ゆうゆう学園 PR ビデオを西播磨文化会館ホームページ上で公開しています。今年度は学園生活の大きな魅力であるクラブ活動を中心として学生の皆さんの協力で制作しました。あわせて1年間の学園生活を凝縮したスライドショーもご覧ください。



### クラブ紹介



### ゆうゆう学園生活から（フォトギャラリー）



### 「兵庫県地域文化を考えるシンポジウム」を開催しました！

「兵庫県地域文化を考えるシンポジウム」は、県内各市町文化協会・団体の会長及び会員が一堂に会し、各地域における文化振興の現状や課題、事業の推進方策等について情報交換や協議を行うことを目的とし、毎年度、6圏域持ち回りで開催しています。

「淡路」の順番となった令和4年度は、「淡路文化会館」が事務局を務める「淡路文化団体連絡協議会」が企画・運営を行い、「くにうみの島淡路の歴史と新しい地域文化の創造」をテーマに、11月25日（金）に洲本市文化体育館（しばえもん座）で開催しました。

迫力ある和太鼓のオープニング演奏、地域の活動報告等の後、「淡路のええとこ魅せま SHOW」と題して、第一部では国生み神話や平家物語と淡路島との関係など「古くから伝わる伝統文化」を、第二部ではオカリナ演奏やフラダンスなどの「淡路島での新しい文化活動」を紹介しました。

当日、約400名の参加者にご協力をいただき、アンケート調査を実施しましたが、「淡路のええとこ魅せま SHOW」に関しては、だんじり唄の披露などに対して多くの参加者から温かい感想が寄せられ、長期間にわたり準備を進めてきた淡路文化団体協議会のメンバーにとっては、今後の活動の自信と励みになりました。

来年度は、「西播磨」で開催されます。後日、「西播磨文化協会連絡協議会」の方々に淡路にお越しいただき、今回学んだ運営のノウハウをお伝えし、寄せられた課題などを引継ぎさせていただきました。今後も、このシンポジウムを通じて、県下各地域の文化交流や文化事業に関する情報交換が推進されることが期待されます。



### 「2022 淡路島ココだけの文化祭」を開催しました！

淡路では珍しく粉雪が舞う12月18日（日）に、淡路市立しづかホールで「2022 淡路島ココだけの文化祭」を開催しました。

この事業は、令和2年度からはじまりましたが、過去2年は新型コロナ感染拡大のため、映像を淡路文化会館のホームページにアップし、ご覧いただく形で開催させていただきました。

令和4年度も感染拡大が懸念されましたが、寒い中にもかかわらず450名もの方々にご参加いただき、舞台発表という形で無事開催することができました。

当日は、淡路島で活動に取り組む団体による、人形浄瑠璃、邦楽、和太鼓、マンドリン演奏、踊り、ダンスなどが披露されました。

この文化祭を開催する目的は、淡路地域で活動する伝統芸能、民俗芸能、創作芸能に取り組む団

体が一堂に会し、お互いの活動発表や交流を通じて、後継者の育成・文化活動の保存の気運を高めるとともに、こうした活動を多くの地域の方々に知っていただくことにあります。

こうした事業は地域文化の振興のために重要であると考えており、今後も、県民局、3市の協力を得ながら継続していきたいと考えています。



令和5年3月発行

**公益財団法人 兵庫県生きがい創造協会**

〒675-0188

加古川市平岡町新在家 902-3

TEL:079-424-3380 FAX:079-424-3475

いなみ野学園	079-424-3342
ひょうごラジオカレッジ	079-424-3343
ふるさとひょうご創生塾	078-360-9015
阪神シニアカレッジ	0797-26-8001
嬉野台生涯教育センター	0795-44-0711
但馬文教府	0796-22-4407
西播磨文化会館	0791-75-3663
淡路文化会館	0799-85-1391